

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名	平野区
学校名	瓜破西小学校
学校長名	水上 紀代美

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・瓜破西小学校では、第6学年 45名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

○平均正答率

〈国語科〉本校48%（大阪市65% 全国66.8%）〈算数科〉本校40%（大阪市58% 全国 58.0%）〈理科〉本校39%（大阪市55% 全国57.1%）

全ての教科において大阪市・全国平均を大きく下回った。また、各教科の領域別の結果を見ても大阪市・全国平均を下回っており、無解答率も高い。

○児童質問紙においては、「将来の夢や目標を持っていますか」の質問に対する肯定的な回答が全国平均を上回った。一方、「自分には、よいところがあると思いますか」の質問項目に対する肯定的な回答が低い。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

問題番号2四の漢字の書き取りの問題の正答率が低く、既習の漢字を文の中で使うことに課題がある。また、問題番号2二の調べたことを基に詳しく書く問題の無解答率が高く、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表すことに課題がある。

〔算数〕

問題番号1(4)の重さを求める式と答えを書く問題の正答率が低く、必要な情報を選び、数量の関係を式に表すことに課題がある。また、問題番号3(2)の共通する単位分数の幾つ分になるかを書く問題の正答率が低く、数や言葉を用いて記述することに課題がある。

〔理科〕

問題番号4(2)の水の結露について適切に説明しているものを選択する問題の正答率が高く、水の状態の変化について理解していることが分かる。しかし、問題番号1(2)の水のしみ込み方の違いをまとめたわけについて、結果を用いて書く問題の正答率が低く、結果を基に結論を導いた理由を表現することに課題がある。

質問調査より

質問番号(7)「将来の夢や目標を持っていますか」と(8)「人が困っているときは、進んで助けていますか」の質問に対する肯定的な回答の割合が全国平均を上回っている。校内の豊かな自然環境を活かした教育活動をはじめ、地域との関わりや出前授業等といった様々な体験に取り組んできた結果、他者を思いやる気持ちの育成やキャリア形成につながっている。

一方、質問番号(58)「算数の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていますか」のように学習における表現活動に関する質問に対する肯定的な回答の割合は低く、教科に関する調査における課題との関連が見られる。

今後の取組(アクションプラン)

学力の向上について、昨年度より算数科を研究教科に設定し、スクールアドバイザーの助言を受けながら、日々の授業改善に組織的に取り組んでいる。また、今年度は「数と計算」領域に焦点化し、学力調査でも課題の見られた思考力・判断力・表現力の育成をめざした研究を進めている。さらに、学びコラボレーターと連携し、日々の学習活動における支援や放課後学習を実施するなど、学習におけるつまずきの解消を図っていく。

その他の教育活動について、これまで取り組んできた体験学習が児童の豊かな心の育成やキャリア等において成果が見られることから、地域や外部人材とも連携しながら今後もよりよい学習活動の実施をめざしていく。

また、学校だよりや学校HP等を通じて家庭学習や生活習慣の形成等について保護者に向けて広く発信していく。

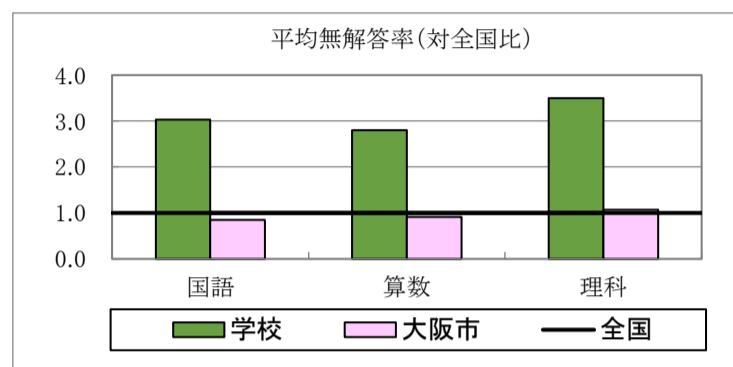
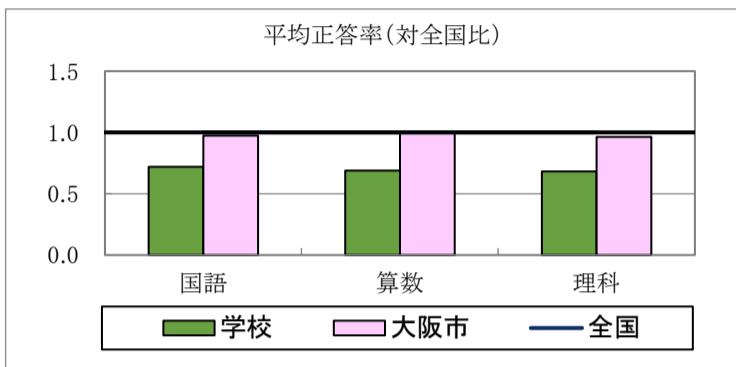
【 全体の概要 】

平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	48	40	39
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1

平均無解答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	10.0	10.1	9.8
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8



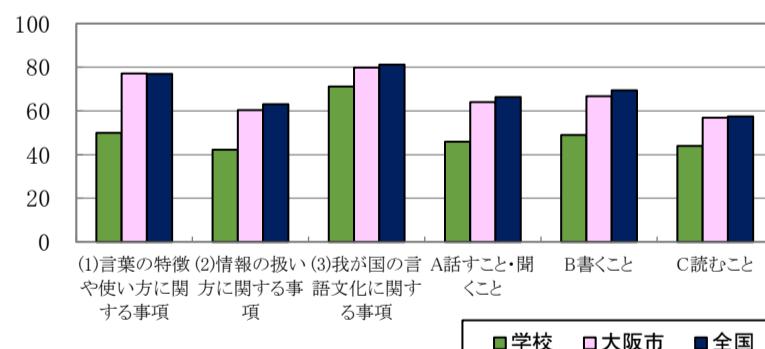
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	2	50.0	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に関する事項	1	42.2	60.4	63.1
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	71.1	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	45.9	64.0	66.3
B 書くこと	3	48.9	66.7	69.5
C 読むこと	4	43.9	56.9	57.5

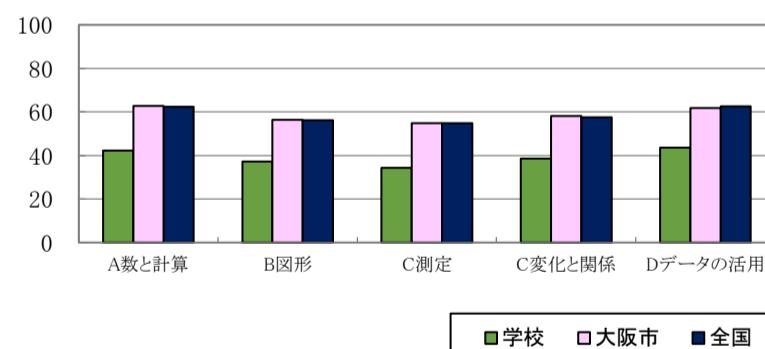
【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	42.2	62.7	62.3
B 図形	4	37.2	56.4	56.2
C 測定	2	34.4	54.9	54.8
C 変化と関係	3	38.5	58.2	57.5
D データの活用	5	43.6	61.9	62.6

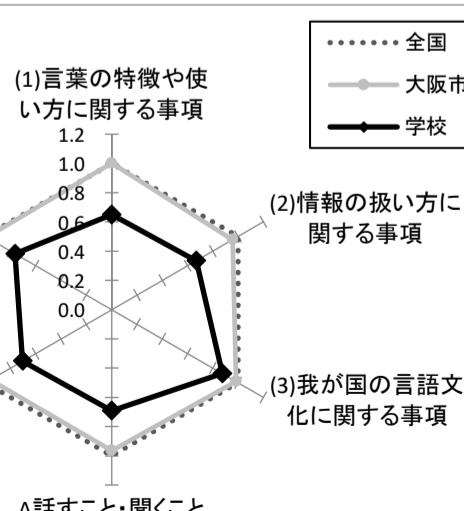
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



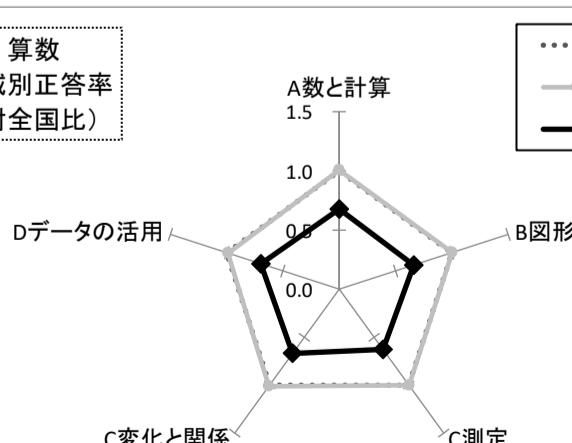
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語
内容別正答率
(対全国比)

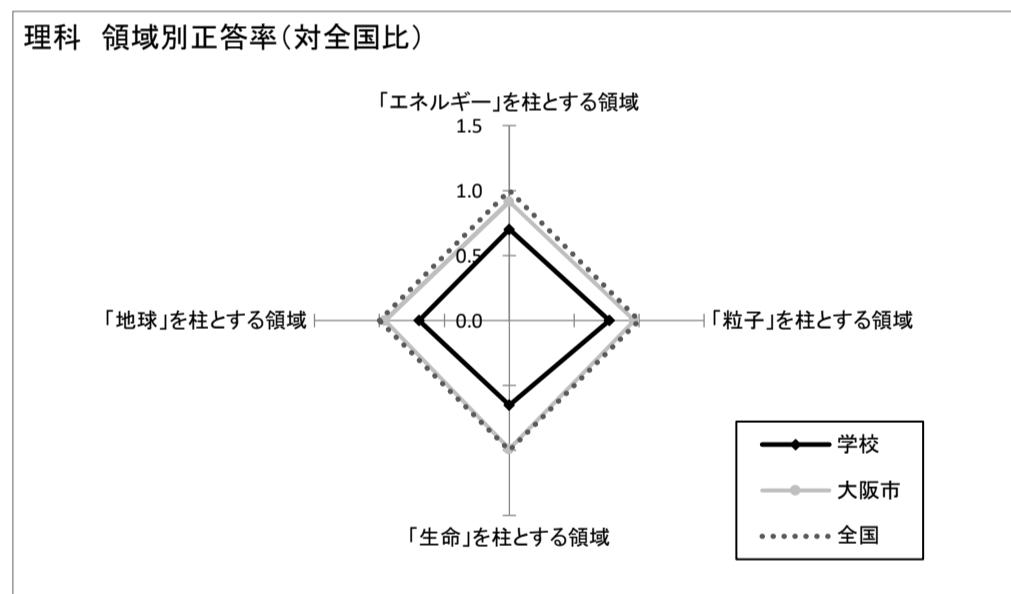
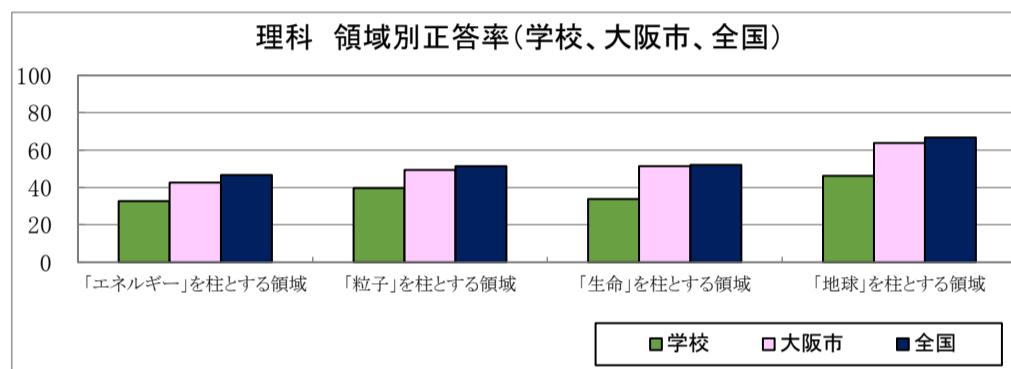


算数
領域別正答率
(対全国比)



【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
A 区 分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	32.8	42.7	46.7
	「粒子」を 柱とする領域	6	39.6	49.5	51.4
B 区 分	「生命」を 柱とする領域	4	33.9	51.4	52.0
	「地球」を 柱とする領域	6	46.3	63.8	66.7



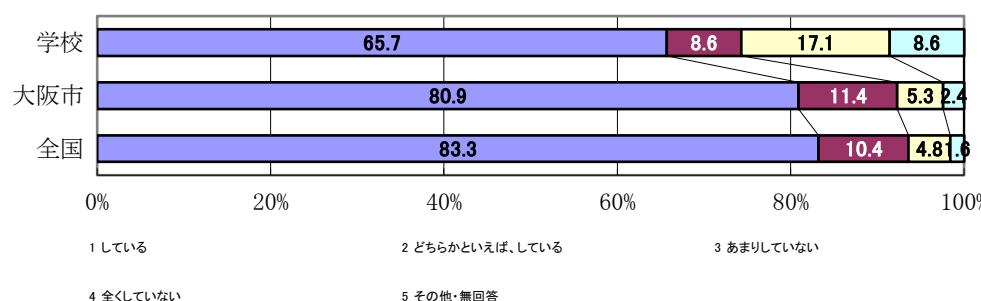
児童質問より

■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

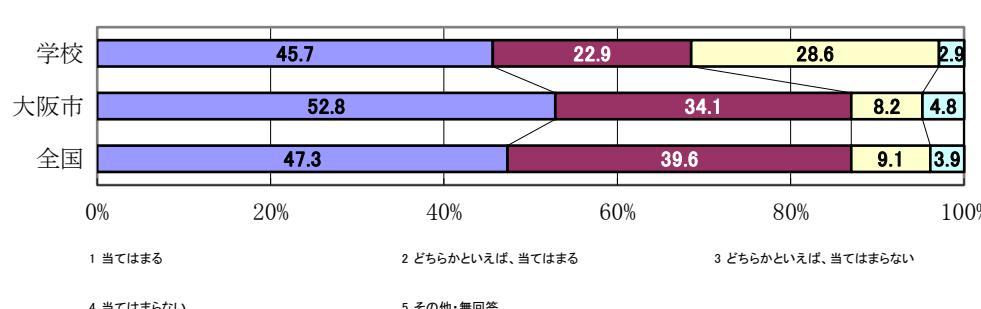
1

朝食を毎日食べていますか



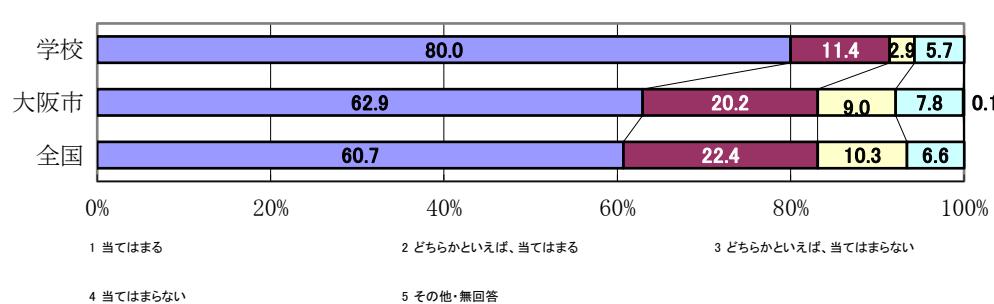
5

自分には、よいところがあると思いますか



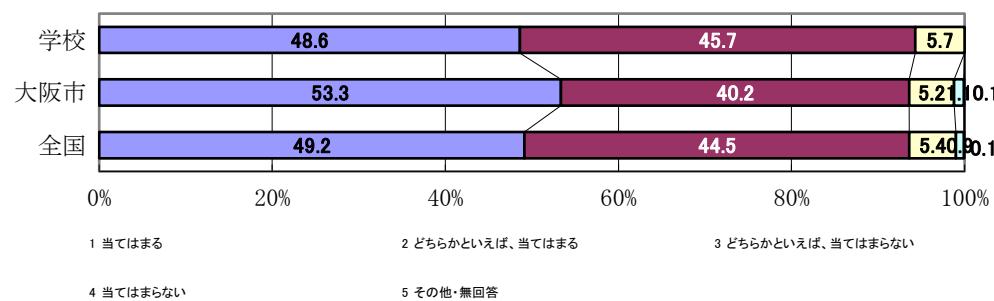
7

将来の夢や目標を持っていますか



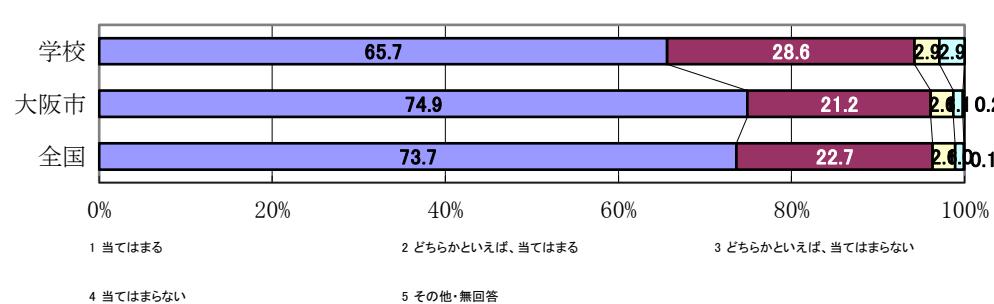
8

人が困っているときは、進んで助けていますか



11

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



学校質問より

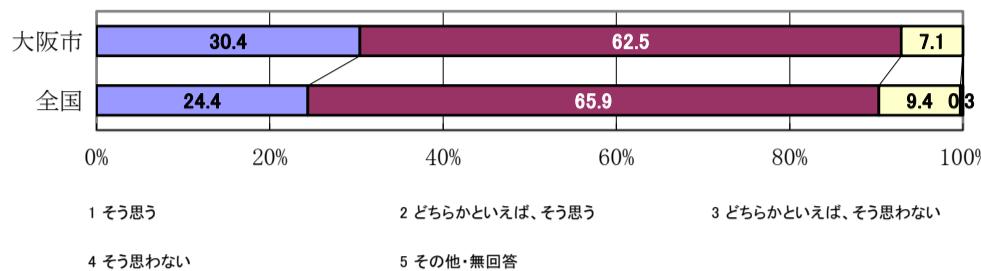
□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

7

調査対象学年の児童は、熱意をもって勉強していると思いますか

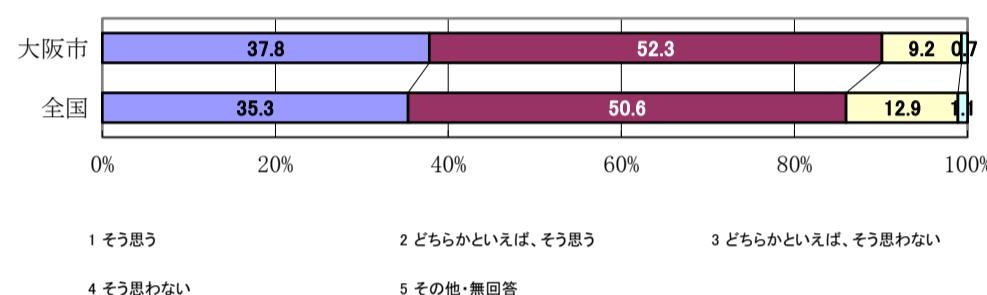
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



8

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

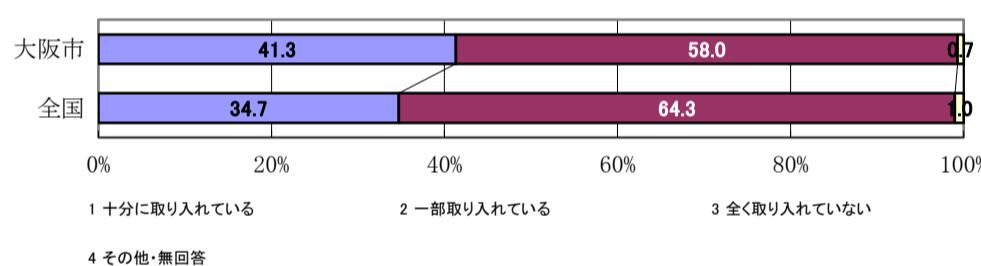
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



13

ICTを活用した校務の効率化(事務の軽減)の優良事例を十分に取り入れていますか

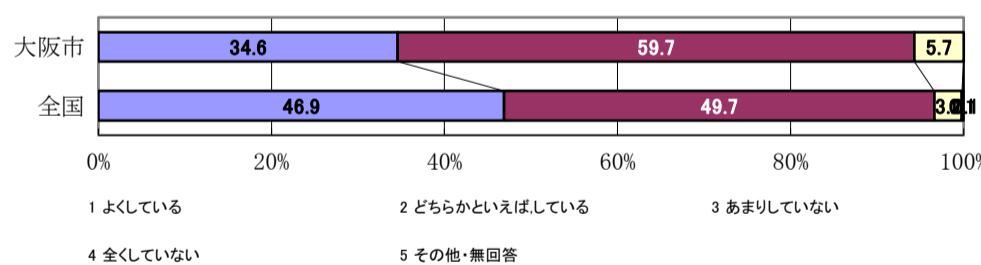
学校 「一部取り入れている」を選択



14

教育課程表(全体計画や年間指導計画等)について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成していますか

学校 「どちらかといえば、している」を選択



18

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

学校 「どちらかといえば、している」を選択

